

身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛するの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛するの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛するを読んだことのある10代～50代の男女21名
調査期間	2025年7月22日～2025年7月23日 2025年7月25日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/migawarikonnosyohousen/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛するを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	3人
30代女性	0人
40代男性	14人
40代女性	3人

50代男性	1人
50代女性	0人

Q2: 身代わり婚の処方箋～製菓王は孤独な花嫁を溺愛するの感想を教えてください。

『身代わり婚の処方箋～製菓王は孤独な花嫁を溺愛する』1話～5話の感想・口コミ	朱弥子さんの扱いが酷すぎました。部屋を与えられているとはいっても牢獄よりひどいように感じるレベルでしたし、あそこで一日中ずっといるのは酷いですね。そしてその酷さをより感じたのは嫁いだから。身体確認の為に服を脱がされたわけですけど、そのシルエットから貧相というかまともなものを食べさせてもらえていなかったというのは十分わかりました。幸いちえさんとかは常識人のようですし、幸せになって欲しいなって感じました。
『身代わり婚の処方箋～製菓王は孤独な花嫁を溺愛する』1話～5話の感想・口コミ	とにかくこの物語のヒロイン朱弥子に心奪われますね。両親を亡くして叔父の家に引き取られてしまうのですが、そこでの劣悪な立場が本当にかわいそうです。珠子というその家の娘に日々いじめられる毎日なのですが、それでも直向きに生きようとしている朱弥子が本当に魅力的ですね、珠子の言動がいちいちかんに触る感じなのですが、その姿を見る事でより朱弥子への好感度が増大します。
『身代わり婚の処方箋～製菓王は孤独な花嫁を溺愛する』1話～5話の感想・口コミ	両親の死をきっかけとしてお嬢様だったヒロインが使用人扱いされるようになるという展開はまさにシンデレラようで、似たような境遇のヒロインが登場するマンガも読んだこともありますが、人目にふれないよう狭い場所に閉じ込めたり、ろくに食事を与えてもらえないために発育が悪く、「月のもの」に関する知識さえない朱弥子は他に類を見ないほど可哀想すぎる境遇で、思わずウルツときてしまいました。
『身代わり婚の処方箋～製菓王は孤独な花嫁を溺愛する』6話～10話の感想・口コミ	朱弥子の辛さがしみじみと伝わってくるような場面が多くて、読んでて胸を締め付けられる思いになりました。その一方で日出鶴の優しい一面が朱弥子に対して向けられたり、希望を感じられるシーンもちゃんと含まれているのが良かったです。さらに物語が進んでいくと、朱弥子と日出鶴の関係性に予想外の進展があったりと良い意味でドキドキさせられました。
『身代わり婚の処方箋～製菓王は孤独な花嫁を溺愛する』6話～10話の感想・口コミ	朱弥子の体を心配して使用人であるちえさんが栄養満点な料理を作ってくれる姿になんだか心が締め付けられますね。こんなにも優しい人が朱弥子の近くにいてくれて感謝でしかありません。ちえさんの料理を食べて元気を出そうとする朱弥子の姿も非常に可愛いですし物語にどんどん厚みのようなものが生まれているように思います。取り分けキャラの深掘りがすごいです。
『身代わり婚の処方箋～製菓王は孤独な花嫁を溺愛する』6話～10話の感想・口コミ	朱弥子と日出鶴が2人で庭を散歩している姿にかなりほっこりできますね。まだそこまで親密になっていない2人が手探りでどこちなく歩いている姿にドキドキしましたね。この展開を作ってくれたのは、ちえさんなので本当に彼女には頭が上がリません。それくらい色々取り計らってくれるので、ちえさんの存在はこの作品の中ではめちゃくちゃ偉大です。
『身代わり婚の処方箋～製菓王は孤独な花嫁を溺愛する』11話～15話の感想・口コミ	日出鶴との関係がどんどん深まっていく朱弥子に対して、珠子の嫉妬の念が渦巻いているのを感じるので、この三人の関係性がどうなっていくのかドキドキしました。物語が進むにつれて珠子の行動が過激になっていくので、それくらい日出鶴に対して執着しているのがわかります。そんな珠子に負けず、朱弥子には幸せを掴みとってほしいです。
『身代わり婚の処方箋～製菓王は孤独な花嫁を溺愛する』11話～15話の感想・口コミ	日出鶴と朱弥子の関係が段々と親密さを増しているのを作画からひしひしと感じられます。作中、使用人であるちえさんの計らいによって日出鶴と朱弥子が買い物に出かける場面がなんだかすごくいいですね。夫婦という印象を強く抱かせてくれる描写に、ほっこりとした感情を抱きました。朱弥子の表情が喜びに満ちているのが伝わりとても嬉しかったです。

コミ	
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』11話～15話の感想・コミ	彦次郎はともかく、かけおちしたなら珠子はもう朱弥子に関わってこないだろうと安心していたのですが、まさか街中で日出鶴と一緒にいるところを見られたうえ、あっさりかけおち相手をこっぴどく捨てて日出鶴に乗り換えようとするとは、あまりの身勝手さにびっくりしてしまいました。そこからの珠子は心根の醜さが見事に表情に反映されていて、笑ってしまうレベルの顔芸なので、ぜひ注目して見てほしいと思いました。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』16話～20話の感想・コミ	すごく物語が複雑に展開していくので、そこが非常に面白いです。作中、日出鶴の過去を知ってしまった朱弥子がすごく落ち込んでいる姿にとてつもない可愛らしさがありました。彼女の繊細な性格がとてもよく現れていると思います。落ち込む朱弥子に優しく接する日出鶴の配慮の部分もかなり魅力的で2人の愛情という想いが交錯しているのを強く感じられます。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』16話～20話の感想・コミ	本当に珠子の存在は厄介ですね。自分の代わりに日出鶴と夫婦になったという朱弥子のことが気に入らない感じで周りに嘘を撒き散らす場面は必見です。彼女の性格の悪さがとてもよく表れていたかと思います。でもそんな嘘を吐かれても、ちえが毅然とした態度をとっていたのでその部分は格好良かったですね。完全に珠子の嫉妬心が招いた出来事なのでより珠子が哀れに見えてきます。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』16話～20話の感想・コミ	朱弥子と日出鶴様は読者視点から見ればあきらかに惹かれ合っているのに、珠子さんやちえさんから聞いた話の影響で朱弥子が思い詰めているのに加えて、日出鶴様が素直な言葉を口にするタイプではないせいで、気持ちがすれ違ってしまっている状態が非常にもどかしいです。朱弥子の亡き両親のスパイ容疑は冤罪の可能性が高いと思うので、2人の明るい未来のためにもはやく真実が判明してほしいです。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』21話～25話の感想・コミ	日出鶴と朱弥子の関係性がやっぱり見えて少しもどかしいですね。恋愛にすごく疎いというか、なかなかお互いの気持ちを真正面から伝え合わないで早く愛し合ってほしいという気持ちが高まります。でもそこがまたこの作品の面白いところで、周りのキャラたちが色々2人のために尽力してくれたりしてくれるのでそこが凄く魅力的です。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』21話～25話の感想・コミ	朱弥子の想いがとても色濃く感じられてすごく面白いです。やっぱり彼女の心情の変化の描き方が、めちゃくちゃ気になる感じで俄然目が離せませんね。日出鶴との関係に悩んだり自分の身の上のことで悩んだり色々朱弥子には悩みが尽きないので、その部分に注目するとより彼女に感情移入できますね。もっと正直になってほしいものです。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』26話～30話の感想・コミ	物語が進むに従い朱弥子の本当の両親のことがより気になっていますね。本当にスパイ活動なんてしていたのでしょうか。その辺の背景がより気になってくる感じなので俄然目が離せません。一方、珠子がとにかく厄介で朱弥子と日出鶴を引き離そうと躍起になっているのが本当に嫌です。正直2人にとって邪魔でしかないですが彼女がいることで物語が面白くなっていることも確かです。

『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』26話～30話の感想・口コミ	朱弥子がなかなか日出鶴に心を開けないところに少しのもどかしさがありました。絶対に今抱えていることを全て話したとしても日出鶴は受け止めてくれると思います。それだけ器のでかいキャラですから大丈夫でしょう。早く朱弥子が素直になってくれることを切に願います。物語の中心が両親の真実にフォーカスしている感じがするので早く恋愛要素も見たいですね。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』26話～30話の感想・口コミ	朱弥子の本当の両親の正体がなんなのか凄く気になってきますね。その真実に辿り着いた感がある使用人ちえさんの有能さがとても面白いです。物語の中にいろいろな伏線が張り巡らされているので、その点もこの作品が人気な理由だと思います。ただの恋愛漫画に終わらない要素がとても多いのでより深く楽しめています。よって朱弥子の内面にもかなり興味が湧きますね。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』31話～32話の感想・口コミ	本当にこの作品は一つのエピソードがあっという間に終わってしまいます。なのでキャラのセリフをじっくりと読んでしまうのですがその都度、日出鶴の色気の爆発具合にときめきますね。朱弥子との関係もより親密さを増して見ていてとてもニヤニヤしてしまいました。抱擁シーンでの日出鶴の男らしさの部分にかなりときめきがありますね。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』31話～32話の感想・口コミ	なんだか朱弥子と日出鶴の幸せな未来を強く感じられましたね。キャラクターたちの背景が結構入り組んでいますが、その全てがスッキリした時に2人が本当の愛に気づいてハッピーエンドを迎える気がしますね。叔父さんを取り巻く色んな闇の部分など気になることは多いですがこの先の展開にかなり期待したいです。やはり日出鶴の優しさに毎回ときめきます。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』31話～32話の感想・口コミ	2人の愛情を作画から肌で感じることができました。2人が体を引き寄せ抱き合っている場面は本当に魅力的ですね。ドキドキが読み手のこちら側に強く伝わるようで本当に良かったです。作中、日出鶴の真摯な想いがとても良くて朱弥子に心から寄り添っている感じもあって俄然目が離せません。このまま2人がいい関係のまま関係を継続してほしいと強く思います。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』32話～34話の感想・口コミ	こんなにも心が通じ合っているのに、朱弥子は自分の親にかかったスパイ疑惑のせいで、まだ家をでていこうとしています。早く二人の正体が判明して、もっと信頼し合える仲になればいいのに。以前、ちえさんが何か見つけていましたが、帰ってから一気に話が進むことを期待します。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス